

平成24年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493000101	事業の開始年月日	平成21年4月16日	
		指定年月日	平成21年4月16日	
法人名	社会福祉法人プレマ会			
事業所名	そよ風			
所在地	(242-0028) 神奈川県大和市桜森3丁目4番4号			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成24年11月1日	評価結果 市町村受理日	平成25年1月31日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.jp/14/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&IieyosyoCd=1493000101-00&PrefCd=14&VersionCd=022
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・そよ風もこの地域において、4年目を迎えております。今まででも参加しておりました自治会の行事へ、今年度も積極的に参加しております。今後の計画として、受け入れて頂く側だけでなく、近所のコミュニティーセンターでの歌やダンスサークルの方々に、披露の場としてそよ風を活用して頂ける様、発信する側になれるよう計画しております。

・地域の商店から仕入れた食材を活かし、毎日手作りの美味しい食事を心掛けております。

・年間通して外出のイベントを企画しております。(今年度は、江ノ島水族館、紅葉ドライブに宮ヶ瀬。また大和市内のレストランでの夕食を実施)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成24年12月6日	評価機関 評価決定日	平成25年1月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

相模鉄道線「相模大塚」駅から徒歩3分の所に位置し、すぐそばに桜の大木のある稲荷神社があります。駅に近く、スーパーマーケットや薬局、ホームセンターがあり、自然に恵まれてなおかつ利便性も良い立地です。建物内には大型の消火器が3本、屋上には太陽光パネルを設備し、火災予防や環境問題に熱心な法人です。1階に保育園があり、園児との交流も盛んです。

<優れている点>

代表者は福祉への思いがあって個人で立ち上げた法人で、入所者、職員を大事にしており、職員も代表者を尊敬しています。ホーム長は、母体の特養で介護の現場を7年積んだ福祉への情熱を持ったホーム長です。正職員の配置が多いため職員の定着にもつながり、介護度の重い入居者へのケアに反映しています。地域が独自の地域交流のやり方をもち、「そよ風」も地域に密着していますが、ホーム側からも地域への浸透を進めています。年に2回バス旅行を企画し、車いすごと乗れるデイサービスの車で大山、江ノ島まで出かけたり、レストランでの夕食を楽しむなど、入居者の笑顔を引き出しています。

<工夫点>

医療体制は医師の協力、母体の看護師のもとに整っていますが、ホームとしても東海大の「老年学研究会」に出席し、発表の機会を得るなど前向きです。伊勢原市の「高齢者ケア」のセミナーにも出席し「そよ風」としてのターミナルケアのあり方をホーム長を中心に進めています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	そよ風
ユニット名	2F さくらユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1 ###	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念に基づき、職員で考え作り上げた理念を共有し、ご利用者の支援に繋げております。	法人の理念とは別に、事業所での理念があります。この理念は前ホーム長が職員と作ったもので、主にホーム内での心構えが記されています。現ホーム長は全体会議で理念の見直しをしたり、入居検討者の家族に内容を説明しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会等にご利用者と共に積極的に参加しています。	近くに稲荷神社があり、入所者の花見や紅葉狩りの場所になっています。地域の盆おどりもそこで行われ、ホーム長、職員が準備から手伝い、当日は入所者も参加しています。地域の独居生活者を対象に隣人会があり、ホーム長も参加しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在実施考察中。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で得た自治会の情報をもとに、ご利用者様の行事参加を実現しています。またそよ風の現状と考えをお伝えし、地域との接点を会議中に意見交換が出来ています。	自治会長、老人クラブ会長、法人理事長、市役所の職員（または地域包括職員）とホーム側のメンバーが集まり、2ヶ月に1度開催しています。ホームからの報告の他、地域のダンスや歌の会の披露場所としてホームを提供はどうかと提案を受け、検討中です。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	感染症などについての情報提供を受け、安全対策に活かしています。設備についての相談を行い、助言を得てサービスにつなげています。	大和市のホーム長会議には市の職員が3名出席し、運営推進会議にも市の職員が参加し、意見や情報交換の場として活用しています。市の研修（ノロウイルス、食中毒、インフルエンザ等の研修）には、職員も積極的に出席しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修に参加後、職員会議でも話し合っています。また身体拘束から一歩進めて、拘束のグレーゾーンについての取り組みも行っています。	玄関は外からはインターフォンで、中からはスイッチで開けられる方式でしたが、現在玄関のカギを改善中です。セキュリティは、入所者を閉じ込めるのではなくて、職員が間に合うための1手段でもあるなど、家族の意見もいれて、職員間で話し合っています。	前の道路は車の往来が激しく、玄関の開け閉め、エレベーターの操作方法について迷いが見られます。現場でなくては分からない面もあることで、入所者の状態にあわせて臨機応変に対応することも期待されます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人研修にて老人福祉法や介護保険法等の講義が有り、その防止法を学んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修の受講とその報告会にて話し合い、支援に繋がっています。制度を利用されているご家族との情報交換を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に行っております。すぐに用意できるように保管しており、質問に対応できるよう配慮しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時にご家族とお話しできるように心掛けております。ご家族が参加できる行事を設け（敬老祭・誕生日会等）、その中でのご意見など参考にさせて頂いております。	家族からの意見や提言は、全職員が家族からの信頼を得て汲み取れるようにという方針です。家族からタンスの上のほこり、花瓶の花が枯れていたなどの指摘を受けて、職員一同、改善に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議、ユニット会議、職員会議があり、その中で意見交換を行っております。また毎日の申し送りで反映しております。	各会議で職員からでた意見は、速やかに代表に伝えられ、働きやすい職場になっています。開設当初からパソコンのソフトは使い勝手のよいものを導入し、パソコンの苦手な人への指導も行われています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の目標設定やレポート提出状況などを把握し、対応しております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人研修年3回への参加。外部研修にも参加の働きかけを実施しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	大和市内グループホーム長会への参加をし、同市内の状況や勉強会等の情報交換をするように努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に、ご家族からの情報を共有し、傾聴に努めています。またご利用者と十分なコミュニケーションを図り、他の専門職と連携を取っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時には出来る限りご家族に声をかけ、状況の相談をお受けするように心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族からの希望をお聞きし、提供できるように努めております。ご利用者のニーズを明らかにする事により、不安や混乱の無いように対応しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	寄り添う暮らしを心掛け、ご利用者と共に出来る事は一緒に行い、生活維持が出来る様な対応に努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの声も大切にし、双方からのコミュニケーションが取れる様に心掛けております。行事等ご家族が一緒に参加出来、楽しんで頂ける様努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活歴の情報、ご家族からの情報、ご利用者との会話等から、今までの生活が維持出来る様、職員も心掛け支援に努めております。	入所者の自宅近所でおつきあいをして頂いた方が年に数回訪れています。馴染みの美容院に家族が連れて行く方もいます。入所前に通っていたデイサービスに、こちらから出掛けることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員がご利用者一人ひとりの身体、心理を把握し、食堂にて笑い声が聞こえる様な会話を心掛けております。共通なクラブを通じ、楽しく交流出来る様心掛けております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人内の特別養護老人ホームへ出向く機会を作り、転居された方と挨拶や、ご家族との情報交換に心掛けております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者の意思、人格を尊重し、ご希望が実現出来る様心掛けております。困難な場合、ご利用者に納得して頂ける様誠意をつくしております。	食材の買い物や食器拭きを楽しみにしている入所者には、積極的にお手伝いをお願いしています。ビールを飲みたい、新聞を購読したいなどの希望も受け入れています。童謡よりも昔の流行歌を唄いたい、との希望は音楽療法士に伝え、かなえられています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その方が最も輝く所、最もその方らしい所、その時代と今を重ね合わせてその方を理解し、お一人おひとりの生活を大切にするよう心掛け、職員も共有する様支援に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々変化する生活の中で、お一人おひとりの主体的、目的意識的な生活が送れる様な支援に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者、ご家族の希望を取り入れ、ユニット会議でも話し合い、他の職種とも連携を取り、プラン作成をするよう努力しております。	状態にあわせて随時変更し、本人、家族には、都度説明しています。時に応じて、家族、医師、職員でカンファレンスをしています。週に2回リハビリに行くことを盛り込んだり、部屋に閉じこもりがちな人には声かけを多くするなど、具体的なプランとなっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、ケアの実践は具体的に記録し、情報を共有する事で支援に役立てております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者、ご家族の希望により、訪問マッサージ、訪問医、訪問歯科等をご利用頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	風の子保育園との交流、地域での外食、買い物や自治会の行事へ参加をしております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期診療と、その他臨時往診もあり、24日間体制での連携をしております。また近所のクリニック（内科・脳神経外科）との連携も出ています。	利用者や家族が希望するかかりつけ医による医療を継続して受診できるように支援し、家族に替わり職員が通院介護も行っています。大部分の利用者は協力医療機関の往診医の受診となっています。受診後は個人別にパソコンにて記録管理して、共有しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人の看護部との連携、訪問医の医師、看護師とは、ご利用者の変化に対してもいつでも報告相談が出来、指示を頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族との連携で入院中の経過を把握し、お見舞いに出かけ、直接ご利用者に面会してきます。必要に応じ、病院の相談員や医師、看護師からのお話を聞くことがあります。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針は、入居時に説明しております。看取りについては、ご家族や訪問医、施設と十分話し合いをしてケアに取り組んでおります。	これまでに看取りを行っています。重度化した場合の対応に係る指針を策定し、説明しています。ターミナルケアは医師の指示に従い、家族の要望と協力が得られ相談し行う方針です。職員は、急変時のマニュアルに基づき研修を行い、外部研修も受講しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	対応マニュアルで備えております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回大和消防の協力を得て、消火訓練等ご利用者と一緒に行っております。	防災・避難訓練は、年2回消防署の指導を得て、実施しています。うち、1回は夜間想定を行っています。災害時には利用者を外階段に続くベランダへ誘導し、救助を求めるように消防署から指導されています。非常災害用の食料や飲料水も備蓄しています。	防災・避難訓練は、地域との協力が得られるように、運営推進会議などを通じて働きかけが大切と思われます。今後も地域と連携をして一層充実した訓練となることも期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室への出入りに関してはロックと声掛けを意識して対応し、プライバシーの確保に気をつけた対応をしております。	職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出しています。日頃より利用者の一人ひとりを尊重し、居室に入る場合はロックして、理由を告げてから入室するように心掛けています。個人情報に関する書類は施錠のできる書庫に保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや希望をくみ取り、その方の出来る事出来ない事を把握する事で、自己決定出来る様に心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活が確保出来る様、起床や就寝の時間を大切にし、日中の過ごし方もお一人おひとりのペースに合わせた支援を心掛けております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時等に関わらず、ご本人の好みの洋服などを選び、おしゃれに気をつけております。食べこぼし等で汚れた衣類は替えて頂き、清潔保持に心掛けております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者が出来る事は手伝って頂き、職員と一緒にっております。お一人おひとりの好みを把握し、ご利用者と一緒に買い物に行き提供しております。	利用者は職員と一緒にのびのびと下ごしらえ、盛りつけ、配膳、食器拭きを行っています。誕生会には利用者の好きな昼食を出前で採り、ケーキまたは和菓子を提供し、色紙に寄せ書きして祝っています。	職員は、利用者と同じテーブルを囲んで、食事を一緒に摂り、その日の味付けなどを話し合っで食べ、食事が楽しいものになるような支援も期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	3回の食事、10時と15時のおやつ時、入浴後の水分補給等の記録を付けております。そこらご利用者の状態を把握し、1日の必要量が確保出来る様、職員で共有しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行い、お一人おひとりに合ったケアをしております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お一人おひとりの排泄パターンを知る為に排泄表を作り、排泄の失敗を減らしております。	排泄チェック表により、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を支援しています。利用者の仕草や表情から察知し、声かけをしてトイレ誘導をしています。入所前にリハビリパンツだった人が布パンツに改善した方もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自力で排泄できる様、牛乳、ヨーグルト、野菜などを多く摂取して頂いております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者の希望で入浴を勧めています。排泄の失敗等で汚れてしまわれた時などは、個々に応じた対応をしております。	入浴は基本的に週3回で、夏場は清拭にする方もいます。入浴をしたがらない方には、仲のよい人に声かけをお願いして一緒に入ったり、声かけの人や時間を変えて対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人おひとりが安心して気持ち良く眠られるよう、居室内の清潔保持と気温、明暗等に心掛け、支援をしております。また1時間おきの見守りを実施しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	最新の処方薬説明書のファイルを作り、すぐ見て確認できる様にしています。服薬時にご本人の前で名前、日付、朝昼夕の確認を声を出して行っております。また飲み込みの確認も実施し、変化については医師や薬剤師との相談も行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者が出来る事は一緒に行っております。週一回の音楽クラブで歌ったり、編み物をされたり、テレビ体操を取り入れております。夕食時は晩酌をされる方もおり、楽しみ事や気分転換を支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年2回のバス旅行、年4回の外食を実施しております。また近所神社のお花見や自治会の行事など外出の機会を多くしております。	利用者は車椅子の方も含め、天気が良ければホームの周りや桜森稲荷神社や近くの法人代表者の庭を見物に出掛けています。職員と一緒にスーパーマーケットへ日用品の買い物へ行ったり、ファミリーレストランへ外食や江ノ島や大山にも車で出掛けています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者で現金管理の出来る方は一緒に買い物に行き、日用品等を購入しております。またご利用者にレジで支払いをして頂く時もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて支援をしております。ご親戚からの葉書等は、直接お渡ししております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じ、お花や果物、野菜等を飾ったり、ご利用者と職員の手作り折り紙での飾り付けを行っております。冬の乾燥時期には、加湿器付きの空気清浄機を用意し、こまめに温度調整と換気をしております。	外は、物理的に米軍厚木基地が近くにあります。航空機の騒音も気になります。建物内は音も抑えられています。リビングは床暖房で明るく清潔に保たれ、陽当たりが良く、温度、湿度、換気に配慮しています。イベント時の写真や日めくりカレンダー等が飾られています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング・ダイニング等お好きな所でテレビを観たり、談笑されます。また本や新聞を読まれたりと、お一人おひとり自由に過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者の使い慣れた家具や布団等、ご自宅と変わらぬ生活空間で過ごして頂けるよう努力しております。	居室はエアコン、クローゼット、防災カーテンなどが備え付けられています。入所者は慣れたベット・テーブル・椅子・テレビを置き、仏壇や家族の写真を飾り、居心地よく過ごせる居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事はお手伝いをして頂き、生活に張り合いを持っていただきます。食事の支度・掃除・洗濯物干し・洗濯たみ等取り組んでおります。		

事業所名	そよ風
ユニット名	3F けやきユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1 ###	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	介護理念にめざしたケアを、職員は日常的に行っています。理念に合致しない点は、管理者が指導を行い教育をしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	設立4年目を迎え、自治会とのつながりがより深くなっている。年間の自治会行事には積極的に参加・手伝いをしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在実施考察中。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で得た自治会の情報をもとに、ご利用者様の行事参加を実現しています。またそよ風の現状と考えをお伝えし、地域との接点を会議中に意見交換ができています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	感染症などについての情報提供を受け、安全対策に活かしております。整備についての相談を行い、助言を得てサービスに繋げています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人研修で虐待防止の研修を受けております。行動の制限にならない様、声掛けの言葉を選び、工夫をしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	関連法令については、法人研修で学ぶ機会を設けています。事業所内では管理者が指導を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修の受講をしております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に行っております。その質問にはすぐに対応を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、ご家族に最近のご利用者様のご様子をお伝えし、ご家族からのご要望やご意見を頂く機会を設けております。母体のみなみ風には苦情対策委員会があり、苦情が発生した場合は適正に対応を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	リーダー会議・ユニット会議・職員会議があり、その中で意見交換を行っています。毎日の申し送りで反映しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人内研修や外部研修の参加などを評価の一つにしております。また各外部研修にも、職員本人が望むものであれば、法人として参加を認めていただけます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年3回の法人研修と就労時にリーダーより、介護をするにあたって必要な心構えについての話があります。日々の業務においても、それを基準に振り返っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ホーム長会参加や他施設主催の勉強会に出向き、情報交換の場を大切にしております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にはご本人のペースに合わせています。ご不安やご要望に丁寧に応える事で、安心して過ごしていただいています。適切な距離を保ちながら、施設での生活に慣れていただくよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始時には十分な時間を設け、ご家族と話し合いを行っています。ご利用者が生活に慣れて頂く間、ご家族に電話で様子をお伝えしています。またご家族とは早期の内に関係を深めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族とよく話し合い、支援内容と方向性を一致させたサービスを抽出し、実際に支援を行っています。医師・看護師から助言を頂きながら、他のサービス（外部リハビリ・訪問マッサージ）を利用する機会を設けています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員の在り方として、介護をする側との立場ではなく、同じ空間で過ごしている者としております。介助においては、まずはご本人に満足をしていただける工夫を考えるようにしております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、ゆっくりご家族と過ごして頂ける様に、ケアプランの中で組み込むなどの配慮を行っています。必要な方には、家族とのカンファレンスを行い、ケアの内容や今後の方針について話し合う機会を設け、共に支え合う関係性が出来ています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の方についても、ゆっくり落ち着いた雰囲気の中で過ごして頂く様に配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方々には隣の席で会話を楽しんで頂ける様に、配置に配慮しております。コミュニケーションに支障がある方でも、スタッフが間に入り支援を行う事で、輪が広がる工夫を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特養へ移られた方との交流を続けております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	画一的な対応にならないよう個別対応に努め、ご本人の思いや意向を、普段の関わりの中から把握するように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や、場合によっては以前ご利用していた事業者のケアマネジャーからの情報提供を受け、状態の把握をしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りでご利用者の現状把握、及びスタッフ間の情報共有を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状況に応じたアセスメントを行い、課題やケアの方向性について、スタッフ・ご家族や医療チームと話し合い、計画書を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、ケアの実施、結果をパソコンを使用して記録を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	身体的な理由により、医師の指示書に基づいて、訪問マッサージのサービスを受けられています。歯科医師の訪問診察と治療のサービスも受けられています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会行事への参加やお祭りへの参加をしております。また近所への買い物や、外食を楽しむ為のレストラン等利用されています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期診療と臨時往診を実施。24時間体制での連携をしております。また近所のクリニック（内科・脳神経外科）とも連携できています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人の看護部との連携もあり。真和クリニックの医師・看護師とは、ご利用者の小さな変化に対しても、いつでも報告相談が出来、指示を頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、ご家族とよく話し合い、入院先の医師とムンテラを行う等の対応を取っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルについて、関係者と十分な話し合いを行っております。ご家族・ご本人の意向を出来る限りくみ取る努力をし、ご家族の協力を得て、支援に取り組めます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人研修・外部研修においても訓練を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	大和市消防から認定証をいただいております。非常時、緊急用として食事の備蓄も行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人様の気持ちに配慮した声掛けを行っております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の観察・交流からご本人様の思いを捉え、自己決定を促す様な声掛けを実施している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お散歩は、ご利用様が行きたい時にける様支援をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の髪型や衣類のコーディネートに配慮しております。また月に一度施設内において、理美容の訪問を願っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの把握に努め、準備・盛りつけ・片付けを行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	定期的に実施されている血液検査の結果を参考にしながら、栄養状態を把握しています。食べ易く、ご本人様の嗜好に配慮した料理を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、お一人おひとりに声を掛けて実施しております。離床が難しい時などには、うがいをするなど個別対応を心掛けております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間も含め、オムツの利用はありません。また下剤も適当な量を検討し、便秘を最小限にとどめています。トイレでは見守りをしますが、排尿中は退室するなど、細かな配慮も行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食後の牛乳や乳製品の援助を心掛けております。毎日テレビ体操も実施しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	無理強いせず拒否のある方の意向も受け入れております。声掛けに工夫を行い、ご利用者様のお気持ちに負担にならない様、配慮を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	下肢の浮腫の状態により、午睡を取り入れています。午睡を行う事で、日中の傾眠を予防し、夜間の安眠へ繋がる様支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	食品との飲み合わせ等も、薬剤師から十分な説明と情報提供を受けています。めまい・立ちくらみ・食欲不振が薬剤の影響かどうかにも注意しております。服薬変更があった場合など変化に注意をし、協力医師・看護師に伝えられるよう強化しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎週水曜日、音楽クラブを実施しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	予定がなくても、その日の天気・体調によって散歩に出掛けられるよう心掛けております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	洗面用品・お菓子など、ちょっとした買い物を楽しめる様に支援しています。（お金を所持している方のみ）		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お手紙を受け取り、ご本人へお渡ししています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	スタッフの話声や戸を閉める音などの生活音がガチャガチャしないように配慮しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆様お一人おひとりが落ち着いていられる場所や、ご自分の席で過ごされています。居室に戻りたい時は、歩行を見守りや介助する等、ご本人の意向を大切にしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅でお使いの家具をお持ちいただいています。以前の生活との連続性が保てるように配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	皆様が集まるリビングと、食堂がユニット中央にあります。食道には対面式のキッチンがあり、ご利用者と調理をながらも、食堂とリビングを見渡す事が出来ます。		

(別紙4(2))

事業所名 社会福祉法人プレマ会そよ風

目標達成計画

作成日： 平成 25 年 1 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	今回いただいたご家族様アンケートを拝見すると、まだ安心してまかせていただいている状態ではない意見もあった。今後そよ風として、ご家族と協力し安心感を持っていただけるよう努めていく。	ご家族の方に、ご利用者の情報をお伝えし、ご本人様だけでなく、ご家族の方もご納得の上で、介助を展開していく。	毎月のご利用請求書と共に手紙を一文添えて、介助に対する相談などを加える。また今月あった事や、来月に予定してある事などもお伝えしていく。	12ヶ月
2	52	開所から、徹底されていなかった設えの一部。その粗が今になって目立ってきている。同時に保管するものとして、ご利用者様情報ファイルにも乱れが出て来ている。どちらも生活空間との位置づけで、合わせて見直す事により、生活の場と情報共有の質向上を目指す。	そよ風にとって今必要な物、必要でない物を仕分け、清潔感のある生活空間を演出していく。それに合わせ、今後も安全面も確保できるインテリアも見直していく。	身体介護だけに捉われずに、ご利用者の生活を支える支援を職員全体で振り返る。その為には備品の管理も大切との意識を共有し、各フロアの徹底した整理整頓と備品の再確認を行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。